



VOICETONE™ create

PRODUCT MANUAL

JAPANESE VERSION

ユーザーマニュアル





イントロダクション .....	4	エフェクトとジャンル .....	24
クイックスタート .....	6	Reverb - リバーブ .....	24
2 台の VoiceTone を使用する場合 .....	11	Delay & Tap Tempo - ディレイ & タップ・テンポ .....	25
フロント&バック・パネル .....	12	μMod .....	26
セットアップ例 .....	14	Transducer - トランスデューサー .....	27
ファンタム・パワー .....	14	ジャンル・バンクのパッチについて .....	28
標準的なセットアップ .....	15	パッチリスト .....	29
ステレオ・セットアップ .....	16	FAQ & トラブルシューティング .....	35
サウンド・エンジニア・セットアップ .....	17	スーパー・エディット・モード & リセット .....	37
パッチ、パフォーマンス、パート .....	18	仕様及び性能 .....	38
パフォーマンスの活用例 .....	21	切り取りレファレンス .....	39
単一エフェクト .....	21		
A/B 切り替え .....	22		
シーケンス .....	23		

# イントロダクション

## VoiceTone Create へようこそ

VoiceTone Create は、ステージ上でスタジオ・クオリティのエフェクトを実現するシンガー向けの製品で、プロフェッショナルなプロデューサーが使用する機材をポータブルなペダルに凝縮しています。VoiceTone Create のエフェクトは、ハイエンドのスタジオ・ハードウェア・プロセッサやプラグインと同等のアルゴリズムを搭載しています。ノイズフロア／ハーモニック・ディストーション／周波数特性などの音質面では、Create は既存の類似するあらゆる機材を凌ぐ性能を発揮し、多くのハイエンド機をも凌駕します。

Create では、音楽ジャンルに関わらず良いサウンドを得られる、プロフェッショナルが作成した幅広いサウンドが用意されています。既存のサウンドで物足りない場合は、設定を調節するためのシンプルでパワフルなコントロールも用意されており、素早く任意のサウンドを得られます。

バンド・メンバーやオーディエンスはもちろん、サウンド・エンジニアでさえも、シンガーが自分のサウンドに責任をもってコントロールできることに驚かれるかもしれません。

TC-Helicon では、その時はついに来た、と考えています。

## 主な特徴

- リバープ：ホール、ルーム、プレート、スプリング、アンビエンス
- ディレイ：タップ・テンポ、ピンポン、スラップ、タップ
- $\mu$ Mod：マイクロシフト、シッケン、コーラス、フランジャー、フェーザー
- トランスデューサー：ディストーション、テレフォン、メガホン、フィルター
- 音楽用の 99 のエフェクト・パッチを搭載
- 柔軟な A/B エフェクト・スイッチング機能を装備、5 つのユーザー・パフォーマンス設定を指定可能
- パッチの設定を素早く行なえる優れた操作性
- マイク・レベル I/O (XLR)、モノラル／ステレオ出力対応
- クリーンなスタジオ・クオリティのマイク・プリアンプ、ファンタム・パワー対応

### TC-Helicon について

TC-Helicon では、「声」は世界で最も美しい楽器であると考えています。世界中にあふれる他の美しい楽器を蔑む意図はありませんが、考古学的にも「声」はあらゆるメロディの源と言えます。

TC-Helicon の創始者はこう述べています。「我々は全てをこの楽器（声）に捧げています。ライブやレコーディングで声を扱う人が、あらゆるパフォーマンスから無限の可能性と魅力を引き出すことができる世界を具現化したいのです。」

会社を設立するきっかけは、いたってシンプルな質問でした。「なぜ、声に特化したツールやソリューションが存在しないのでしょうか。」

シンガーにとって、これはどのような意味を持つのでしょうか。その答えは、カナダのピクトリア州にいるエンジニア・研究者・製品スペシャリストの集団が、シンガーとの会話や連絡／歌唱／リスニング・テストや評価などを通じて、全ての時間を「声」に捧げている、ということです。様々な活動から得られた経験と知識は、現代のヴォーカリストに向けた製品の開発に役立てられています。TC-Helicon の製品は、ヴォーカリストのクリエイティビティをかき立て、実力を発揮することを妨げる技術的なバリアを取り除くことを目標としています。だからこそ、ヴォーカル用のマルチエフェクト・ペダルからニアフィールドのパーソナル・ヴォーカル・モニターまで、多様な製品が用意されているのです。

Enjoy.

The TC-Helicon Team  
a TC Group Company

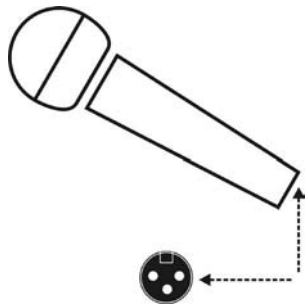
## クイックスタート

### ステップ 1:

マイクにマイク・ケーブルを接続します。

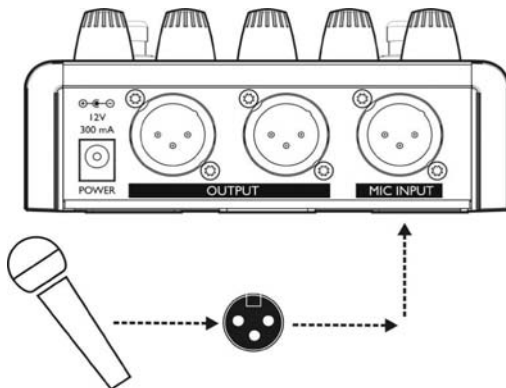
#### NOTE:

この時点では、Create の電源は入れないでください。



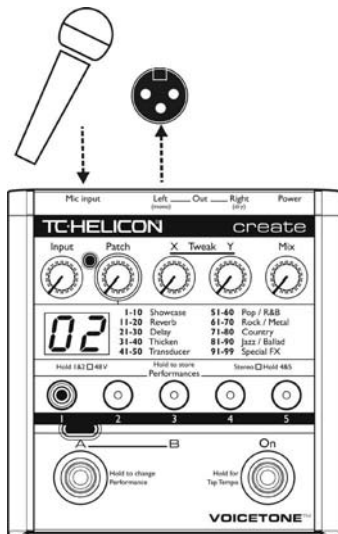
### ステップ 2:

マイク・ケーブルを、Create の Mic Input 端子に接続します。



## ステップ 3:

Create の Left Out 端子に XLR ケーブルを挿入します。

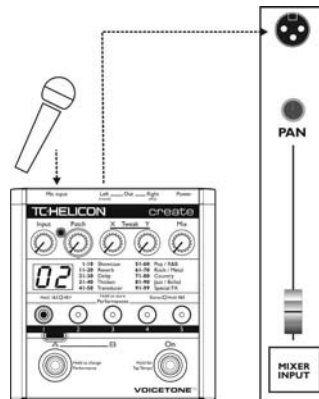


## ステップ 4:

Create の出力をサウンド・システムの入力に接続します。

### NOTE:

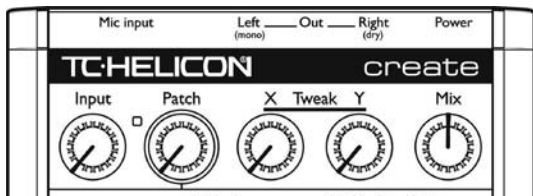
この時点で、サウンド・システムのマイク入力のゲインやボリュームが下がっていることを確認してください。



## クイックスタート

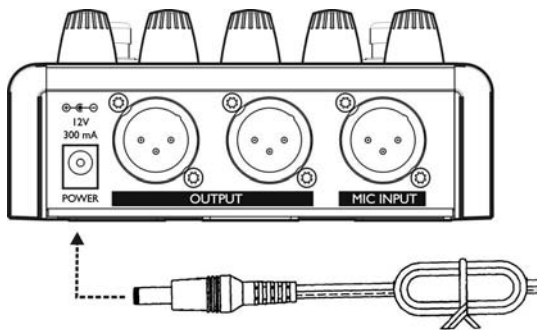
### ステップ 5:

Input ノブを左に回しきり、Mix を 12 時の方向に設定します。



### ステップ 6:

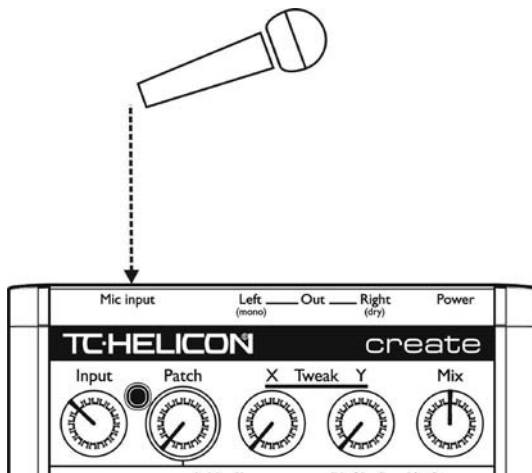
Create の電源アダプターを Create の Power 端子に接続し、コンセントに接続します。





### ステップ 7:

マイクに向かって歌いながら、Input ノブを右側に回して行き、レベルを調節します。通常はグリーン、声の大きい場面では稀にオレンジに点灯するように設定します。赤く点灯させないでください。



### ステップ 8:

ヴォーカルが良く聴こえるようになるまで、サウンド・システムのマイク・インプット・チャンネルとマスター・ボリュームを徐々に上げていきます。

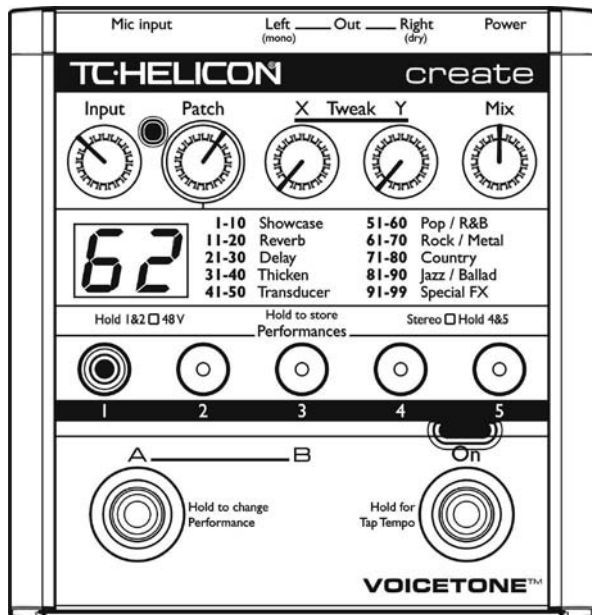


## クイックスタート

### ステップ 9:

これで、Create の効果を確認できる準備の完了です。

- 右フットスイッチを踏むことで、エフェクトをオン/オフできます。
- Patch ノブをゆっくりと回していくことにより、パッチを順番に試すことができます。



## 2 台の VoiceTone ペダルを使用する場合

2 台の VoiceTone ペダルを直列に接続することができます。通常、Create はチェーンの最後に接続します。

### ステップ 1:

2 台の VoiceTone ペダルを、それぞれの製品のクイックスタート・ガイドの指示に従って設定します。

### ステップ 2:

1 台目の VoiceTone ペダルの出力を PA に送る代わりに、モノラルの出力を Create のマイク入力に接続します。

### ステップ 3:

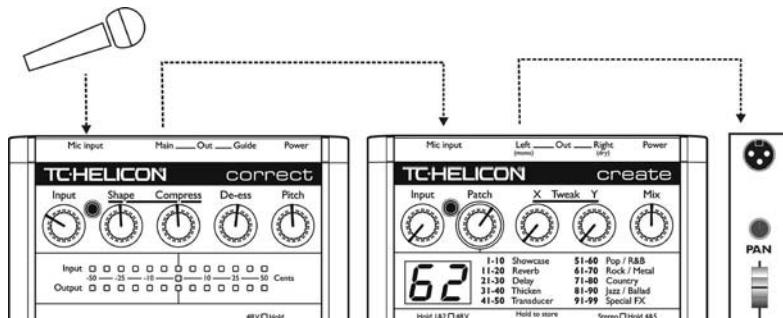
2 台目の VoiceTone (この例では Create) の出力を PA に送ります。

### ステップ 4:

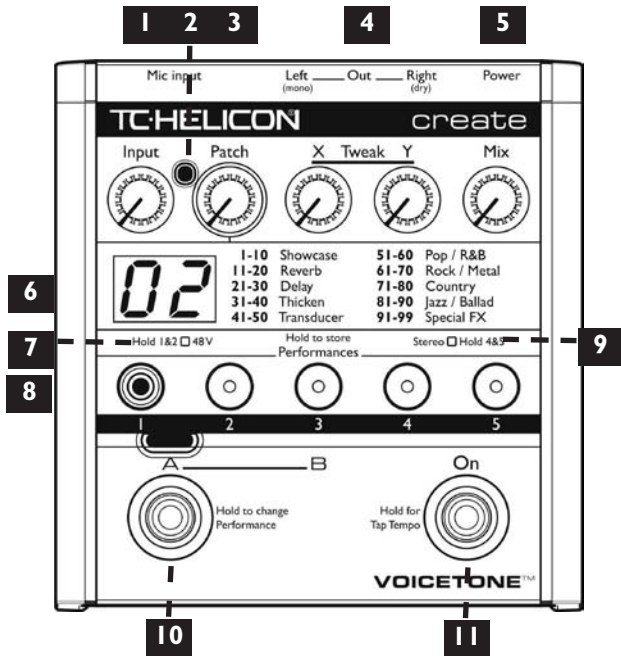
VoiceTone Create の Input ノブを左に回しきります。

### ステップ 5:

1 台目のペダルの Input ノブでマイクのゲインを合わせます。



# フロント & バック・パネル



## 1. Input - インット・ノブ

マイク・プリアンプのゲインを調節します。ダイナミックとコンデンサー・マイクを使用できます。

## 2. インット・ライト

マイクの入力レベルを示します。通常はグリーン、稀にオレンジに点灯する状態が最適です。赤が点滅する状態はクリッピングを示し、避けてください。

## 3. Patch - パッチ・ノブ

エフェクト・パッチを選択します。99のエフェクト・パッチが用意されています。

## 4. Tweak X/Y - トゥイーク X / Y ノブ

トゥイークとは「いじる」という意味で、選択されているパッチの効果を構成する二つの要素を調節します。

## 5. Mix - ミックス・ノブ

エフェクトとドライ（原音）の全体的なミックス・バランスを調節します。12時の設定がデフォルトです。

## フロント & バック・パネル

### 6. 数値ディスプレイ

選択されているプリセット番号を表示します。Tweak ノブを使用している時には、一時的に最後にエディットしたノブの値を表示します。

### 7. 48V - ファンタム・パワー・ライト

+48V ファンタム・パワーの状態を表示します。

### 8. Performances - パフォーマンス 1 ~ 5 ボタン

パフォーマンスを選択します。使用中のパフォーマンスを表示します。

### 9. Stereo - ステレオ・ライト

ステレオ・モードの状態（オン/オフ）を表示します。

### 10. レフト (左) フットスイッチ

パートの A/B、そしてパフォーマンスの切り替えに使用します。

### 11. ライト (右) フットスイッチ

エフェクトのオン/オフとタップ・テンポに使用します。

### 12. Mic Input - マイク・インプット

マイクをここに接続します。

### 13. Left Output - レフト (左) アウトプット

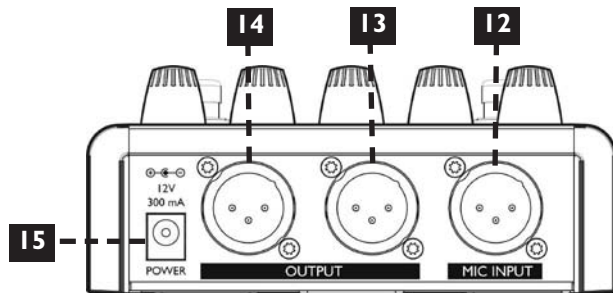
サウンド・システム用の出力です。標準的なモノラルのセットアップ時に使用します。

### 14. Right Output - ライト (右) アウトプット

サウンド・システム用の出力です。ステレオ、またはサウンド・エンジニア・セットアップ時に使用します。

### 15. Power - 電源入力

付属のパワー・サプライ用の入力コネクターです。



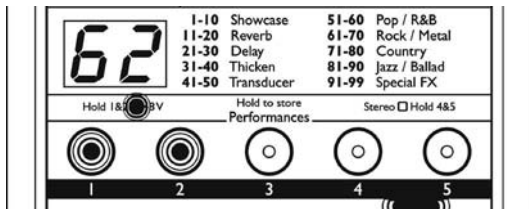
# セットアップ例

## ファンタム・パワー

セットアップを行なう前に、使用するマイクのタイプを確認します。ダイナミック・マイクの場合はファンタム・パワーをオフに、一般的なコンデンサー・マイク（バッテリーや専用の電源ユニットを必要としないもの）の場合はファンタム・パワーをオンにします。

### ファンタム・パワーをオンにする

1. サウンド・システムのマスター・レベルがオフであることを確認します。
2. Create の電源アダプターを Create の Power 端子とコンセントに接続します。
3. ファンタム・パワーをオンにするには、48V ライトが点灯するまでパフォーマンス 1 と 2 ボタンを同時に押します。ファンタム・パワーをオフにするには、48V ライトが消えるまで再度パフォーマンス 1 と 2 ボタンを同時に押します。



### NOTE:

ファンタム・パワーをオン/オフする際にはノイズが生じることがありますので、事前にサウンド・システムのレベルをオフにしてください。

## 標準的なセットアップ

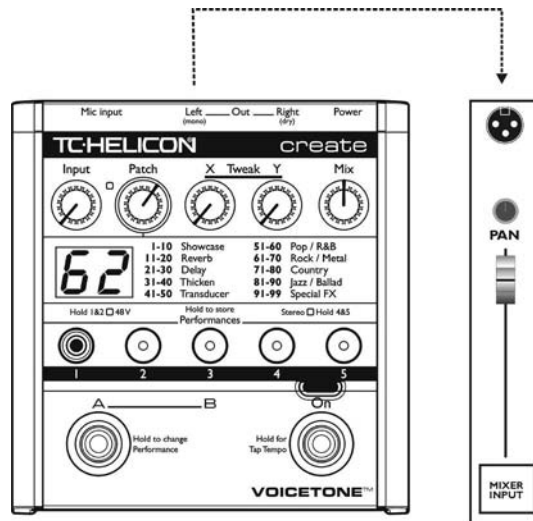
標準的なセットアップはいたってシンプルで、図の通り、サウンド・システムとマイクの間で VoiceTone Create が入ります。このセットアップ例では、Right Out は使用しません。Left Out は、Mix ノブで指定したエフェクトと原音のバランスで、モノラルのミックス出力を行います。

### 標準的なセットアップにおける接続と設定

1. マイクを Create の Mic Input 端子に接続します。
2. 図の通り、Left Out をサウンド・システムの入力チャンネルに接続します。
3. Correct の電源アダプターを Power In 端子とコンセントに接続します。

### NOTE:

Create の工場出荷時の設定ではステレオ・モードはオフ（モノラル）となっています。Stereo ライトが点灯している場合は、Stereo ライトが消えるまでパフォーマンス 4 と 5 ボタンを長押しします。



## セットアップ例

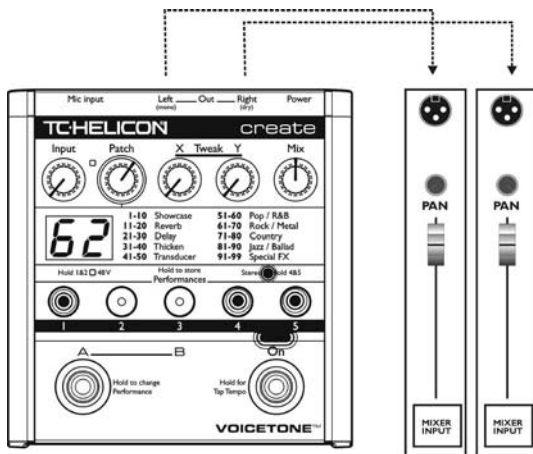
### ステレオ・セットアップ

サウンド・システムをステレオで使用したい場合は、Create をステレオ・モードで使用できます。このセットアップでは、エフェクト・パッチの空気感が増します。Left と Right Out をサウンド・システムの入力に接続します。Mix ノブで、ステレオ・エフェクトと原音のバランスをコントロールします。

### ステレオ・セットアップにおける接続と設定

1. マイクを Create の Mic Input 端子に接続します。
2. 図の通り、Main Out をサウンド・システムの入力チャンネルに接続します。Left と Right Out をサウンド・システムのマイク入力チャンネル 2 系統に接続します。Create の Left Out から接続したチャンネルのパンポットは左に、Create の Right Out から接続したチャンネルは右に回しきります。
3. Correct の電源アダプターを Power In 端子とコンセントに接続します。

4. Stereo ライトが点灯するまでパフォーマンス 4 と 5 ボタンを同時に長押しします。ステレオ・モードをオフにするには、Stereo ライトが消えるまで再度パフォーマンス 4 と 5 ボタンを同時に押します。





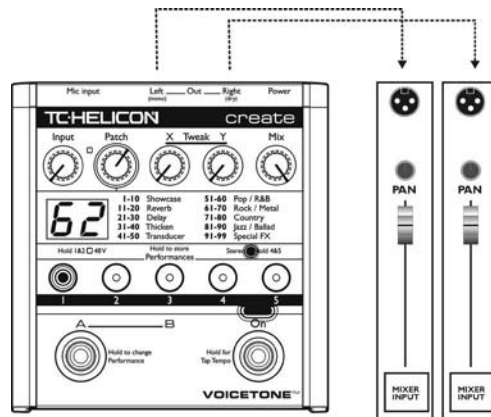
### サウンド・エンジニア・セットアップ

ライブ環境で VoiceTone Create を使用する際に、ヴォーカルのサウンドを調節する PA エンジニアがいる場合は、ウェットとドライ信号のミックス・バランスをエンジニアに任せることができます。サウンド・エンジニア・セットアップでは、片方のチャンネルにはドライのヴォーカルが、もう片方には完全にウェットのモノラル・エフェクトが出力されます。この二つの信号をミックスして、任意のエフェクト・バランスを得られます。

### サウンド・エンジニア・セットアップにおける接続と設定

1. マイクを Create の Mic Input 端子に接続します。
2. 接続は次の通りです。Left と Right Out をサウンド・システムのマイク入力チャンネル 2 系統に接続します。各チャンネルのパンポットはセンターに設定します。
3. Create の電源アダプターを Power In 端子とコンセントに接続します。

4. ステレオ・モードがオフであることを確認します。Stereo ライトが点灯している場合は、Stereo ライトが消えるまでパフォーマンス 4 と 5 ボタンを長押しします。
5. Mix ノブを右に回しきります。Create の Right Out からはドライのヴォイスが、Left Out からはエフェクト 100% の音が出力されます。



# パッチ、パフォーマンス、パート

## 基本的な構成

VoiceTone Create は、数多くのエフェクト・パッチから素早く目的のものを選択してパフォーマンスに活用するための、シンプルながら高度なインターフェイスを装備しています。パッチの設定は「トゥイーク」という工程で変更することができます。

パッチの選択と、そのパッチに対して施した設定の調節は、パフォーマンスに保存できます。設定の変更を保存していない状態で電源を切ると、変更した設定は失われます。

パフォーマンスの保存について

VoiceTone Create のインターフェイスは、完全にリアルタイムです。パフォーマンスやパートに対して加えた変更は、その後にパートやパフォーマンスを切り替えた際にも記憶されます。しかしながら、この状態で Create の電源を抜くと、変更した設定は全て失われます。変更した設定を失わないようにするには、設定を保存します。点滅している Performance ボタンを長押しすると、パフォーマンスの設定（とパフォーマンスの A/B パート）が保存されます。

### パッチ

VoiceTone Create は、99 のエフェクト・パッチを搭載しています。各パッチは、リバブ／ディレイ／ $\mu$ Mod／トランスデューサーのエフェクトを、様々な組み合わせで使用できます。パッチは、カテゴリ別に整理されています。詳しくは、本マニュアルのパッチリスト・セクションをご参照ください。

### パッチの選択

1. 右フットスイッチを踏み、エフェクト・オン・ライトが赤く点灯することを確認します。これで、エフェクトがオンになりました。
2. Patch ノブでパッチ番号を選びます。パッチ番号は数値ディスプレイに表示されます。

### パッチのトゥイーク

1. Tweak X/Y ノブを回すと、パッチのサウンドが変わります。Tweak ノブを回している間、数値ディスプレイには X または Y の設定値が表示されます。数秒で、X/Y の設定表示は終了し、自動的にパッチ番号の表示に戻ります。

#### NOTE:

パッチ別に Tweak ノブに割り当てられている機能については、パッチリスト・セクションをご参照ください。

### パフォーマンスとパート

本番でステージに立つ段階では、通常使いたいエフェクト・パッチの種類と順番は決まっているものです。パフォーマンスとパートは、かがんでペダルを手で操作することなく、サウンドの切り替えを可能とします。この機能により、マイクを握りしめたり観客に向かって手を振るなど、手をヴォーカリスト本来の役割に専念させることができます。

VoiceTone Create では、5 つのパフォーマンス設定を保存した上で、好きな時にその設定を呼び出せます。各パフォーマンスは、A と B の 2 つのパートで構成されます。これら全ての領域には、特定のパッチと、そのパッチに対して Tweak ノブで与えた設定の変更を保存できます。パフォーマンスを保存すると、そのパフォーマンスの A と B パートの設定が両方同時に保存されます。

### パフォーマンスとパートの選択

1. パフォーマンスを選択するには、1 ~ 5 いずれかのパフォーマンス・ボタンを押します。
2. 左フットスイッチを踏むと、パート A と B が切り替わります。選択されているパートは、Part A/B ライトで表示されます。

## パッチ、パフォーマンス、パート

---

### NOTE:

パフォーマンスの設定に変更を加えると、ボタンが点滅します。点滅している状態は、パフォーマンスがまだ保存されていないということです。今後も同じ設定を使用したい場合には、次の「パフォーマンスとパートの保存」の指示に従ってパフォーマンスを保存してください。

### パフォーマンスとパートの保存

1. パフォーマンス・ボタンを長押しすると、選択されているパッチとそのパッチに加えた変更の設定が保存されます。Part A/B ライトが点滅し、保存が完了したことを示します。

### パフォーマンスの活用例

パフォーマンス機能は、その名称通り、パフォーマンス時に威力を発揮します。VoiceTone Create は、コンパクト型のエフェクトとしては異例ともいえる充実したパフォーマンス用の機能を装備しています。ステージ上でエフェクトを使いこなすには、左フットスイッチの操作が極めて重要となります。まずは、実際のステージ上でありうる3つのエフェクトの切り替えかたを順番に見て行きましょう。ここでは、「単一エフェクト」「A/B切り替え」「シーケンス」と分類しています。

#### 単一エフェクト

ペダルの使い方としては最も基本的、且つシンプルな方法です。全ての曲を通してずっと同じエフェクトを使い続ける場合には、次の手順で操作を行ないます。

1. まずは、パフォーマンス1、パートAを選択します。パフォーマンス1ボタンを押して、左フットスイッチでパートAを選びます。
2. 右フットスイッチでエフェクトをオンにします。
3. Patchノブを回し、好みのサウンドを探します。必要に応じて、Tweakノブでサウンドを調節します。
4. パフォーマンス1ボタンを長押しして、設定を保存します。

長めのディレイを含んだパッチを選択した場合には、タップ・テンポ機能を使用できます。タップ・テンポとは、テンポに合わせて足でスイッチを踏むことによって、ディレイを曲のテンポと合わせるができる機能です。タップ・モードに切り替えるには、右フットスイッチを2秒間長押しします。タップ・テンポについての詳細は、「タップ・テンポ」セクションをご参照ください。長いディレイやリバースの余韻が鳴っているときにエフェクトをオフにすると、その先はエフェクトがかかりませんが、既に鳴っているエフェクトの余韻は減衰するまで発音し続けます。

# パフォーマンスの活用例

## A/B 切り替え

単一エフェクトのパフォーマンスをマスターした上で様々なエフェクトを試したら、次に、左フットスイッチの使いこなし方に移りましょう。

「A/B 切り替え」とは、A と B の 2 つの設定を使い分ける方式です。通常は一つのエフェクトしか使用しなくても、楽曲内の特定のセクション限定でサウンドを変えたいといったことが考えられます。また、ほとんどの曲では MicroShift (パッチ 31) を使用している中で、一曲だけ Slow Old Radio Verb (パッチ 90) にしたい、といったことがあるかもしれません。2 つの設定の間を切り替える場合には、次の手順で操作を行いません。

1. まずは、パフォーマンス 1、パート A を選択します。パフォーマンス 1 ボタンを押して、左フットスイッチでパート A を選びます。
2. 右フットスイッチでエフェクトをオンにします。
3. Patch ノブでパッチ 31 を選びます。必要に応じて、Tweak ノブでサウンドを調節します。
4. 左フットスイッチを踏み、パート B に切り替えます。
5. Patch ノブでパッチ 90 を選びます。必要に応じて、Tweak ノブでサウンドを調節します。
6. 左フットスイッチを踏む度に、パッチ 31 とパッチ 90 が切り替わります。
7. パート A と B の設定が両方決まったら、パフォーマンス 1 ボタンを長押しして、設定を保存します。

### 曲中のエフェクト切り替えについて

曲中の進行を際立たせる一般的な手法として、楽曲のセクションの切り替わり (バースからコーラス、ブリッジからコーラス、等) で異なるエフェクトを使用するテクニックがあります。たとえば、Silk Dream (パッチ 1) からヴォーカルを歪ませる Megaphone (パッチ 42) といった異なるサウンドに切り替えたい場合もあるかもしれませんし、より微妙な変化にとどめたいかもしれません。Create には、同じ曲の中での切り替えを前提に組まれた「Verse-Chorus」パッチが用意されており、パッチリスト・セクションにその旨が記載されています。楽曲のパート別にエフェクトを切り替えてみて、パート A と B で効果的なサウンドの変化が得られるように設定を変更してみてください。

### シーケンス

ここまでは、単一のエフェクトと、A/B切り替えによる2つのエフェクトの切り替えを見てきました。次に、より多くのエフェクトを扱う方法を解説します。左フットスイッチの長押し機能を使用し、5つのパフォーマンスを順番に切り替えることができます。

1. まずは、各パフォーマンスでパートを選び、パッチを選びます。
2. 右フットスイッチでエフェクトをオンにします。
3. 左フットスイッチを長押しします。Part A と B ライトが両方点灯します。
4. 左フットスイッチを再度踏む度に、パフォーマンスが順番に切り替わります。選択されているパフォーマンスは、パフォーマンス・ボタンのライト（1～5）に表示されます。
5. A/B モードに戻るには、A/B ライトのいずれかが点灯するまで左フットスイッチを踏み続けます。
6. 5つのパフォーマンスのいずれかに変更を加えた場合、それらの設定は個別に保存しなければなりません。まずは該当するパフォーマンス・ボタンを推してパフォーマンスを選択して、その後と同じボタンを2秒間長押しして設定を保存します。

### NOTE:

パフォーマンスのシーケンスをエンネーブルした時点でパート A が選択されていた場合には、パフォーマンスを切り替えた際にパート A が選択されます。パフォーマンスのシーケンスをエンネーブルした時点でパート B が選択されていた場合には、パフォーマンスを切り替えた際にパート B が選択されます。

# エフェクトとジャンル

---

## Reverb - リバーブ

リバーブは、ボーカル用最も一般的なエフェクトです。リバーブとは、教会やクラブ・ホールなどの空間が持つ残響をシミュレートします。しかしながら、リバーブは必ずしも実存する空間を模写するわけではなく、多くのリバーブ・エフェクトは、プレートやスプリングなど往年の機械式エフェクトを再現するものです。

全てのリバーブは、初期反射（ルーム／空間）と、より長い残響音（テール）で構成されます。一般的なコントロールとしては、空間のレベル（ルーム・レベル）と、テールのレベルならびにディケイ（リバーブ・テール・レベル、リバーブ・ディケイ）があります。さらに、原音とリバーブの信号の間に若干のディレイを加えることができます（プリディレイ）。

リバーブで最も重要なコントロールはレベルです。同じリバーブのパッチであっても、その音量バランスによって全く別物に聴こえます。

リバーブ・エフェクトは、次のように分類できます。

### スペース（空間）

- ホール
- ルーム

### デバイス（機器）

- プレート
- スプリング

### リバーブ・パッチの選択

1. 右フットスイッチでエフェクトをオンにします。
2. パッチ・ノブを回し、パッチ 11 ~ 20 のいずれかを選択します。
3. Tweak ノブでリバーブ・エフェクトのサウンドを変更します。多くの場合は、レベル／ディケイ／スタイル／プリディレイのいずれかが割り当てられています。



### Delay - ディレイ

ディレイ・エフェクトは、設定を変更できるエコー効果と解釈できます。変更できる設定は、エコーの間隔（ディレイ・タイム）と、そのエコーが減衰する速度（フィードバック）です。さらに、一般的なディレイ・サウンドを得るために、フィルターやステレオ関連のコントロールがあります。Create のディレイは、主に二つに分類できます。

#### ショート・ディレイ

- スラップ

#### ロング・ディレイ（最大ステレオ・ディレイは 1800ms）

- モノ・タップ
- ステレオ・タップ
- シンクペーション・タップ
- ピンポン（ステレオ時には、サウンドが左から右に移動）

#### ディレイ・パッチの選択

1. 右フットスイッチでエフェクトをオンにします。
2. パッチ・ノブを回し、パッチ 21 ~ 30 のいずれかを選択します。

3. Tweak ノブでディレイ・エフェクトのサウンドを変更します。多くの場合は、フィードバック/ディレイ・タイム/ハイカットのいずれかが割り当てられています。

#### タップ・テンポを使用する

長いディレイは、曲のテンポと合っていないと違和感のあるサウンドになることがほとんどです。ロング・ディレイが聴こえたら、タップ・テンポ機能を使ってディレイのテンポを曲と合わせることができます。パフォーマンスの設定を保存すると、テンポの情報も保存されます。

1. 右フットスイッチでエフェクトをオンにします。

#### NOTE:

多くのプリセットはタップ・テンポを使用しています。パッチリスト・セクションにタップ・テンポを使用したプリセットが記されています。長いディレイを使用したプリセットはほとんどが該当します。

## エフェクトとジャンル

- パッチ・ノブを回し、数値ディスプレイに21と表示させます。これで、Mono Tap (パッチ 21) が選択されます。
- 右フットスイッチを2秒間踏み続けます。エフェクト・オン・ライトが、パッチに保存されているテンポに合わせて点滅します。

### NOTE:

エフェクト・オン・ライトが点滅しないか、高速に点滅した後に消灯する場合は、そのパッチではタップ・テンポは使用できません。パッチリストを参考に、タップ・テンポを使用した他のパッチを選んでください。

- 曲のテンポに合わせて、数拍、右フットスイッチを踏みます。踏んだテンポに合わせて、エフェクト・オン・ライトが点滅します。Createのテンポが曲のテンポに合ったら、右フットスイッチを長押しします。これで、タップ・モードが終了します。

### NOTE:

パフォーマンスを保存すると、各パートにタップ・テンポの設定も保存されます。

## μMod - マイクロモッド

μModは、マイクロ・モジュレーションの略です(「μ」は「マイクロ」の科学記号です)。μModエフェクトは、上品で存在を気づかせないエフェクトから、クリエイティブな用途向けに原音を意図的に破壊するものまで、幅広いサウンドを作り出すことができます。このエフェクトは、ステレオ・ピッチシフト(ディチューン)、少量のステレオ・ディレイ(ディレイ)、そしてフィルター/フィードバック/モジュレーションの複雑な組み合わせで構成されます。μModは、60年代以降に一般的となった、クラシックなディチューンやダブリング効果を作り出すことができます。こういったエフェクトは、オン/オフを切り替えないと、観客がその存在に気づくことはありません。μModでは、逆に、時間軸で音が変形する極端な効果も得られます。こういったものは、その効果が瞬時に聴き取れます。

### μModエフェクト

- Micropitch - マイクロピッチ
- Detune - ディチューン
- Thicken - シッケン
- Chorus - コーラス
- Flanger - フランジャー

### μMod パッチの選択

1. 右フットスイッチでエフェクトをオンにします。
2. パッチ・ノブを回し、μMod パッチを選択します。パッチ 31 ~ 40 のいずれかを選択します。
3. Tweak ノブで μMod エフェクトのサウンドを変更します。多くの場合は、レベル/フィードバック/デプス（深さ）/スピードのいずれかが割り当てられています。

#### NOTE:

多くの場合、μMod はリバーブと組み合わせることによって、より効果的なサウンドが得られます。そのため、多くの μMod パッチでは、リバーブを加えられるように、Tweak ノブにリバーブ・レベルが割り当てられています。

### Transducer - トランスデューサー

ポピュラー・ミュージックで聴くことのできる多くの特種効果、そして古いレコーディングやエフェクトのヴィンテージ機器を再現するためのブロックです。Transducer は多彩な内部フィルタリング機能と特性曲線を持ったディストーション・ブロックと、電話やラジオといった音声機器の周波数特性をエミュレートするバンドワイズ・ブロックで構成されています。

### Transducer パッチの選択

1. 右フットスイッチでエフェクトをオンにします。
2. パッチ・ノブを回し、Transducer パッチを選択します。パッチ 41 ~ 50 のいずれかを選択します。
3. Tweak ノブで Transducer エフェクトのサウンドを変更します。多くの場合は、バンドワイズ/プリまたはポスト・ゲイン/ディストーション量/ローカットのいずれかが割り当てられています。

## エフェクトとジャンル

### Transducer (続) : ディストーションについて

多くのトランスデューサー・パッチは、一時的に声に異質な特徴を与える特種効果に適したディストーションを含んでいます。ディストーションの質感は入力されている声質に大きく影響されるため、入力レベルの設定は極めて重要です(クイックスタートのステップ7参照)。レベルが不足していると、ディストーションが十分にかかりません。また、ディストーションは、低域と高域で大きくサウンドが異なります。最後に、ディストーションは、フィードバックが生じやすくなるという特徴を持っています。フィードバックを未然に防ぐためには、様々な設定を試しながら、本番前に必要に応じてレベルを若干下げることが必要になるかもしれません。

### ジャンル・バンクのパッチについて

[アーティスト名] の [アルバム名] で聴ける [エフェクトの種類] のサウンドがどう作られているのかがわかりません。

...TC Helicon では、よくこのような問い合わせをいただきます。我々は業界で多く使われるテクニックを長年に渡ってリサーチしており、上記のような一般的な悩みに応えるために、メジャーな音楽ジャンルに向けたパッチを用意しました。

VoiceTone Create のジャンル・バンクは、インスピレーションをかき立てるユニークなパッチを含んでいます。カテゴリーは極めて幅広く、特定のジャンルのパッチを全て試聴すれば、お求めの傾向のサウンドがきっと見つかるはずです。もちろん、特定のサウンドを探すだけでなく、リハーサル中に様々なサウンドを試すことにより、今までとは違ったヴォーカル・ラインや表現方法が頭に浮かぶかもしれません。Create には次のジャンル用のパッチが含まれています。

Pop/R&B - ポップ / R&B

Rock/Metal - ロック / メタル

Country - カントリー

Jazz/Ballad - ジャズ / バラード

Special FX - 特種効果

## 番号 - パッチ番号

### バンク

エフェクトのタイプ、または想定されている音楽ジャンルを示します。Showcase（ショーケース）は、全ての種類の中から代表的なものを選びすぎたバンクです。

### パッチ名

サウンドの傾向または用途を想像させるパッチ名が与えられています。

## Tweak X / Y

Tweak ノブがコントロールするサウンドの要素です。

### タップ・テンポ

タップ・テンポを使用しているパッチに「タップ」と記されています。

### バース/コーラス

Tweak X / Y で設定を変更してパート A / B に保存することにより、同じ曲の中でサウンドを切り替えることができます。

番号	バンク	パッチ名	Tweak X	Tweak Y	タップ・テンポ	バース/コーラス
1	Showcase	Silk Dream	μMod レベル	リバーブ・レベル		○
2	Showcase	Doubled Delay	リバーブ・レベル	ディレイ・レベル	タップ	○
3	Showcase	Radio Voice	リバーブ・ディケイ	リバーブ・レベル		○
4	Showcase	Roomy Delay	リバーブ・プリディレイ	リバーブ・ディケイ		
5	Showcase	Filtered Reflections	トランスデューサー・バンドワイズ	リバーブ・ディケイ		
6	Showcase	Group Double	μMod レベル	リバーブ・レベル		○
7	Showcase	Rooms	リバーブ・ルーム・スタイル	リバーブ・プリディレイ		
8	Showcase	Pop Star	μMod レベル	リバーブ・レベル		○
9	Showcase	Dark Delay Verb	μMod ディチューン	リバーブ・レベル		○
10	Showcase	Just Chorus	μMod レベル	リバーブ・レベル		○

# パッチリスト

番号	バンク	パッチ名	Tweak X	Tweak Y	タップ・テンポ	バース/コーラス
11	Reverbs	Reverbs	リバーブ・スタイル	リバーブ・レベル		○
12	Reverbs	Medium Room	リバーブ・プリディレイ	リバーブ・ディケイ		
13	Reverbs	Medium Hall	リバーブ・ルーム・レベル	リバーブ・テール・レベル		
14	Reverbs	Small Plate	リバーブ・ローカラー	リバーブ・ハイカラー		
15	Reverbs	Large Cathedral	リバーブ・ルーム・レベル	リバーブ・テール・レベル		
16	Reverbs	Standing Beside the Announcer	リバーブ・ルーム・レベル	リバーブ・テール・レベル		
17	Reverbs	Large Hall	リバーブ・プリディレイ	リバーブ・ディケイ		
18	Reverbs	Vocal Hall	リバーブ・プリディレイ	リバーブ・ディケイ		
19	Reverbs	Subtle Singer's Hall	リバーブ・ルーム・レベル	リバーブ・テール・レベル		
20	Reverbs	PingPong Rooms	リバーブ・ルーム・スタイル	ディレイ・フィードバック	タップ	○
21	Delays	Mono Tap	ディレイ・フィードバック	ディレイ・ハイカット	タップ	
22	Delays	Syncopated Tap	ディレイ・フィードバック	ディレイ・ハイカット	タップ	
23	Delays	Pan Tap	ディレイ・フィードバック	ディレイ・センド・パン	タップ	
24	Delays	Spatial Tap	ディレイ・フィードバック	ディレイ・ディビジョン	タップ	
25	Delays	Ping Pong	ディレイ・ディビジョン	ディレイ・フィードバック	タップ	
26	Delays	Slap	ディレイ・ショート・タイム	ディレイ・レベル		
27	Delays	Slap Spatial	ディレイ・ショート・タイム	ディレイ・レベル		
28	Delays	μMod Delay Tap	ディレイ・フィードバック	μMod スタイル	タップ	○
29	Delays	Transducer Delay Tap	ディレイ・フィードバック	トランスデューサー・スタイル	タップ	○
30	Delays	μMod Distort Delay Tap	ディレイ・フィードバック	ディレイ・ディビジョン	タップ	

## パッチリスト

番号	バンク	パッチ名	Tweak X	Tweak Y	タップ・テンポ	バース/コーラス
31	Thickens	MicroShift	μMod レベル	リバーブ・レベル		○
32	Thickens	Chorus	μMod レベル	リバーブ・レベル		○
33	Thickens	Thicken	μMod レベル	リバーブ・レベル		○
34	Thickens	Flange	μMod フィードバック	μMod デプス		
35	Thickens	Thicken FB	μMod レベル	μMod フィードバック		
36	Thickens	Stereo Flange	μMod スピード	μMod デプス L/R		
37	Thickens	Light Chorus	μMod レベル	リバーブ・レベル		○
38	Thickens	Chorus Feedback	μMod レベル	μMod フィードバック		
39	Thickens	Gurgling	μMod スペシャル	μMod フィードバック		
40	Thickens	Race Cars	μMod スピード	μMod フィードバック		
41	Transducer	Multi Trans	トランスデューサー・ポストゲイン	トランスデューサー・バンドワイズ		
42	Transducer	Megaphone	ディレイ・ショート・タイム	トランスデューサー・バンドワイズ		
43	Transducer	Thrashed	ディストーション量	トランスデューサー・ポストゲイン		
44	Transducer	Silk Low Cut	トランスデューサー・ローカット	リバーブ・レベル		
45	Transducer	Dirty Tube Pre	トランスデューサー・プリゲイン	トランスデューサー・ポストゲイン		
46	Transducer	Ripped Speaker	トランスデューサー・プリゲイン	トランスデューサー・ポストゲイン		
47	Transducer	Warm Saturation	トランスデューサー・プリゲイン	トランスデューサー・ポストゲイン		
48	Transducer	Crazed Distort	ディストーション・タイプ	トランスデューサー・プリゲイン		
49	Transducer	Flanged Overdrive	ディストーション量	トランスデューサー・ローカット		
50	Transducer	CB Radio	ディストーション量	トランスデューサー・バンドワイズ		

# パッチリスト

番号	バンク	パッチ名	Tweak X	Tweak Y	タップ・テンポ	バース/コーラス
51	Pop / R&B	Delay and Light Verb	リバーブ・レベル	ディレイ・ディビジョン	タップ	○
52	Pop / R&B	Vocal Hall	μMod レベル	リバーブ・レベル		○
53	Pop / R&B	Wide Subtle Tap	ディレイ・レベル	μMod スタイル	タップ	○
54	Pop / R&B	Subtle Room	リバーブ・ルーム	リバーブ・プリディレイ		
55	Pop / R&B	Thickened Room	ディレイ・レベル	リバーブ・レベル	タップ	○
56	Pop / R&B	Sweet Reverb	リバーブ・ハイカラー	リバーブ・ディケイ		
57	Pop / R&B	Chorus Room	μMod レベル	リバーブ・レベル		○
58	Pop / R&B	Micropitch Space	μMod レベル	リバーブ・レベル		○
59	Pop / R&B	Stereo Dirty Pipes	リバーブ・レベル	トランスデューサー・バンドワイズ		○
60	Pop / R&B	Young Paula	μMod レベル	リバーブ・レベル		○
61	Rock / Metal	American Women	リバーブ・レベル	ディストーション量		
62	Rock / Metal	Dirty Verse	ディレイ・ディビジョン	ディストーション量	タップ	
63	Rock / Metal	Scream Thicken	μMod レベル	リバーブ・レベル		○
64	Rock / Metal	Detune Slaps	μMod レベル	リバーブ・ショート・ディレイ		
65	Rock / Metal	Micropitch Rooms	μMod レベル	リバーブ・ルーム・スタイル		○
66	Rock / Metal	μMod Room	μMod スタイル	μMod レベル		○
67	Rock / Metal	Shrapnel	μMod レベル	トランスデューサー・ローカット		○
68	Rock / Metal	Sexy is Back	μMod レベル	ディストーション量		○
69	Rock / Metal	Roll Your Own Radio	トランスデューサー・スタイル	μMod スタイル		○
70	Rock / Metal	Rooms	リバーブ・ルーム・スタイル	プリディレイ		



## パッチリスト

番号	バンク	パッチ名	Tweak X	Tweak Y	タップ・テンポ	バース/コーラス
71	Country	Mod Country Ballad	リバーブ・ハイカラー	リバーブ・ディケイ		
72	Country	Parton Me	トランスデューサー・バンドワイズ	リバーブ・レベル		○
73	Country	Wailing Verb	リバーブ・ローカラー	リバーブ・ディケイ・タイム		
74	Country	Room Ambience	リバーブ・ルーム・レベル	リバーブ・プリディレイ		
75	Country	Old Tape Delay	ディレイ・レベル	フィードバック	タップ	
76	Country	Rockabilly	リバーブ・プリディレイ	リバーブ・レベル		
77	Country	Rockabilly Delay	ディレイ・レベル	リバーブ・レベル		○
78	Country	Pure Verb	μMod レベル	リバーブ・レベル		○
79	Country	Springing Delay	ディレイ・ショート・タイム	ディレイ・レベル		
80	Country	Victor Phonograph	トランスデューサー・ローカット	ディストーション量		
81	Jazz / Ballad	The Girl From Anywhere	リバーブ・ハイカラー	リバーブ・ディケイ		
82	Jazz / Ballad	Unforgettable	リバーブ・ハイカラー	リバーブ・ディケイ		
83	Jazz / Ballad	Scatting Space	リバーブ・ショート・タイム	リバーブ・レベル		○
84	Jazz / Ballad	Epic Ballad	ディレイ・タイム	ディレイ・フィードバック		
85	Jazz / Ballad	Soulful Acapella	リバーブ・ハイカラー	リバーブ・ディケイ		
86	Jazz / Ballad	Vocal Jazz Delay	ディレイ・ローカット	ディレイ・ショート・タイム		
87	Jazz / Ballad	Swing Delay	ディレイ・ディビジョン	ディレイ・フィードバック	タップ	
88	Jazz / Ballad	Thick Verb	μMod レベル	リバーブ・レベル		○
89	Jazz / Ballad	Short Crisp Verb	リバーブ・ハイカラー	リバーブ・ディケイ		
90	Jazz / Ballad	Slow Old Radio Verb	トランスデューサー・バンドワイズ	リバーブ・ディケイ		○

# パッチリスト

番号	バンク	パッチ名	Tweak X	Tweak Y	タップ・テンポ	バース/コーラス
91	Special FX	Out There	ディレイ・タイム・ショート	ディレイ・フィードバック	タップ	
92	Special FX	Radio Wrap Delay	ディストーション量	ショート・ディレイ・タイム		
93	Special FX	Bathtub Cylon	ディレイ・フィードバック	μMod スピード	タップ	
94	Special FX	Delayed Verb	リバーブ・スタイル	リバーブ・ディケイ	タップ	○
95	Special FX	Rap Flange	トランスデューサー・スタイル	μMod スタイル		○
96	Special FX	Percolating Robot	μMod レベル	ディレイ・レベル		○
97	Special FX	Bad Moving to Left	トランスデューサー・バンドワイズ	ディレイ・フィードバック	タップ	○
98	Special FX	3 Decibels	トランスデューサー・ローカット	ディストーション量		
99	Special FX	Nightmare PA	トランスデューサー・スタイル	リバーブ・レベル		○

### FAQ & トラブルシューティング

#### 1. Create から音が出ません。

- a. 電源アダプターが正しく接続されていることを確認してください。通常は、数値ディスプレイにパッチ番号が表示されています。
- b. マイクに向かって声を出してください。Input ライトがグリーンまたはオレンジに点灯するはずですが、Input ライトが点く場合は、サウンド・システムへの接続と設定を確認してください。Input ライトが点いていない場合は、右フットスイッチを踏んでエフェクトをオフにしてから Input ノブの設定を変えてみて、その状態でドライ（エフェクトなし）の信号が聴こえるかご確認ください。コンデンサー・マイクを使用している場合は、必要に応じてファンタム・パワーを供給してください。

#### 2. エフェクトのかかっていない、元の声しか聴こえません。

- a. ステレオ出力モードで使用している場合、エフェクト・オン・ライトが点灯している状態にしてください。オフの場合は、右フットスイッチを一度押します。また、Mix ノブがオフ（左に回しきった状態）以外のポジションにあることをご確認ください。

- b. モノラル出力モードで仕様している場合、サウンド・システムに接続されている出力をご確認ください。エフェクトがかかるのは、左アウトプットのみです。エフェクトが生成されていない場合は、エフェクト・オン・ライトが点灯していることを確認してください。オフの場合は、右フットスイッチを一度押します。また、Mix ノブがオフ（左に回しきった状態）以外のポジションにあることをご確認ください。通常のアウトプット・モードで右アウトプットを使用している場合で、エフェクトが生成されないドライの出力だとわかった場合には、左アウトプットを使用してください。

#### 2. Tweak X または Tweak Y ノブを回しても、音が変わりません。

- a. エフェクト・オン・ライトが点灯している状態にしてください。オフの場合は、右フットスイッチを一度押します。また、Mix ノブがオフ（左に回しきった状態）以外のポジションにあることをご確認ください。
- b. パッチリスト・セクションを参照して、Tweak X と Y ノブに割り当てられているエフェクトの要素を確認します。リバース・プリディレイやハイカラー／ローカラー、リバース・ディケイ等では、変化は微妙です。

## FAQ & トラブルシューティング

- c. 両方の Tweak ノブを試してみてください。2種類のレベルが割り当てられている時には特に、片方のノブが「0」の場合にはもう片方をどの設定にしても変化を確認することはできなくなります。
- d. Tweak ノブは、「ソフト・ピックアップ」方式となっています。ノブを左に回しきった状態から右に回しきり、その後に任意のポジションに設定してみてください。

### 4. タップ・テンポがうまく機能しません。

- a. タップ・テンポを使用しているパッチを選んでいることを確認してから、右フットスイッチを長押ししてください。タップ・テンポを使用しているパッチは、パッチリストで確認できます。エフェクト・オン・ライトが一度高速に点滅する場合は、タップ・テンポを使用している他のプリセットを選んでください。
- b. エフェクト・オン・ライトがテンポに合わせて点滅している場合は、エフェクト自体がオンの状態にあることを確認してください。右フットスイッチを長押しして、タップ・テンポ・モードを終了します。エフェクト・オン・ライトがオンの状態にあることを確認します。そうでない場合は、右フットスイッチを踏み、エンターします。

- c. タップ・テンポのパッチが選択されていてエフェクトがオンであることを確認したら、ディレイに関連する Tweak X/Y の設定（レベル、フィードバック、ディビジョン）を変更してみてください。

### 5. サウンドが歪みます。

- a. エフェクトがオンの時にだけ歪みが生じる場合には、まずはパッチ自体が意図的に歪みを生成しているトランスデューサー・パッチでないことを確認してください。ディストーションに関連する Tweak X/Y の設定（ディストーション・タイプ、ディストーション・レベル、トランスデューサー・レベル、トランスデューサー・タイプ、トランスデューサー・プリゲイン/ポストゲイン）を変更してみてください。それでも歪みが取れない場合は、Input ノブを左に回しきってみてください。
- b. エフェクトがオフの状態でもサウンドが歪む場合は、インプット・ライトが通常緑で稀にオレンジに点灯するまで、Input ノブを左に回してください。それでも Input ライトが赤に点滅する場合は、口をマイクから離すか、マイク信号を外部ミキサーの AUX 信号から送ってください。

## スーパー・エディット・モード & リセット

### スーパー・エディット・モード

TC-Helicon の開発者がどのようにして VoiceTone Create のパッチを作成したのか、不思議に思われるかもしれません。他の多くの製品同様、高度なパラメータをエディットするための特種なモードが使用されました。製品の開発途中、このモードは社内で「スーパー・エディット・モード」と呼ばれていました。

スーパー・エディット・モードでは、エフェクト毎に何十ものパラメータが用意されており、開発者が VoiceTone Create の 99 のパッチを作成するに時に使用した全てのパラメータを変更することが可能となります。製品開発の最終段階で、このモードは開発者のみならず、高度なユーザや探究心旺盛なユーザにとってパワフルな機能であると判断されました。

詳細については、VoiceTone Create のウェブサイト内にある、「Super Edit Mode」のリンクをご参照ください。

<http://www.tc-helicon.com/voicetonecreate>

### 工場出荷時の設定への復帰

VoiceTone Create のプリセットと設定を工場出荷時の設定に戻す手順は次の通りです。

1. Create の電源アダプターを外します。
2. パフォーマンス 1 と 2 ボタンを同時に押したままの状態、電源アダプターを差し込みます。
3. Create は全てのパフォーマンスの情報を消去し、工場出荷時の設定に戻します。数秒でこの作業は完了します。

# 仕様及び性能

## アナログ入力

- ◆ コネクター：バランス XLR、入力インピーダンス 1k  $\Omega$
- ◆ マイク・インプット感度 @ 0dBFS：-44dBu ~ +2dBu
- ◆ マイク・インプット感度 @ 12dB ヘッドルーム：-56dBu ~ -10dBu
- ◆ EIN -128dBu @ 最大マイクアンプ・ゲイン、 $R_g = 150 \Omega$

## アナログ出力

- ◆ コネクター：バランス XLR
- ◆ 出カインピーダンス：40  $\Omega$
- ◆ 出力レベル @ 0dBFS：+2dBu

## アナログ・オーディオ性能 (入力→出力)

- ◆ ダイナミックレンジ (マイク @ 最小ゲイン時)：>108dB、20 Hz ~ 20kHz \*A-weighted
- ◆ ダイナミックレンジ (マイク感度 @ -18dBu 時)：>104dB、20 Hz ~ 20kHz \*
- ◆ THD+ ノイズ (マイク @ 最小ゲイン時)：<-90dB
- ◆ 周波数特性 (最大ゲイン -1.5dB @ 40Hz)：200Hz ~ 20kHz (+0/-0.3dB)

## コンバージョン特性

- ◆ サンプルレート：48 kHz
- ◆ コンバータ：AKMAK4620B
- ◆ AD/DA コンバージョン：24 ビット、128x オーバーサンプリング・ビットストリーム

## EMC & 安全

- ◆ EN 55103-1 and EN55103-2 FCC part 15, Class B, CISPR 22, Class B
- ◆ IEC 65, EN 60065, UL6500 and CSA E60065 CSA FILE #LR108093

## 環境

- ◆ 作動環境温度：0 °C ~ 50 °C
- ◆ 保存環境温度：-30 °C ~ 70 °C
- ◆ 湿度：最大 90% (結露なきこと)

## その他

- ◆ 寸法：130 mm × 132mm × 41mm
- ◆ 重量：0.72 kg
- ◆ 製品保証：1年

製品の改良のため、仕様は予告なく変更となる場合がございます。

## クイック・セットアップ

1. Create の Mic Input 端子にマイク／ケーブルを接続します。
2. マイク・ケーブルを、Create の Left Output 端子からサウンド・システムのマイク・インプットに接続します。
3. Input ノブを左側に回しきり、Mix ノブを 12 時の設定にします。
4. Create の電源アダプターを Create の Power 端子に接続し、コンセントに接続します。
5. マイクに向かって歌いながら、Input ノブを右側に回して行き、レベルを調節します。通常はグリーン、声の大きい場面では稀にオレンジに点灯するように設定します。赤く点灯させないでください。
6. サウンド・システムのレベルを徐々に上げていきます。これで、エフェクトを加える準備ができました。

## サウンド・エンジニア用の情報

### ご安心ください

ボーカリストが持ち込みのエフェクト・ペダルを使用したいという状況には、警戒心を抑えられないかもしれません。ご安心ください。VoiceTone Create は 109 dB の S/N 比を持った高品質のマイクプリを搭載しており、パッチはヴォーカル向けに作られたものです。

### ファンタム・パワー

Create では、48V ライトが点灯するまでボタン 1 と 2 を同時に長押しすることにより、コンデンサー・マイクにファンタム・パワーを供給できます。外部から Create にファンタム・パワーを送っても機器の破損は生じませんが、電源を落とした際にノイズが生じます。

### 出力レベル

ホットなコンデンサー・マイク同様、+1dBu です。DI ボックスは必要ありません。

### 出力コンフィギュレーション

ウェット／ドライ・バランスを卓側で調節したい場合は、Stereo ライトが消灯するまでボタン 4 と 5 を同時に長押しして、Mix ノブを右に回しきってください。こうすることにより、L 出力は完全ウェット、R 出力は完全ドライになります。

# パッチ・トゥイーク・リスト

番号	バンク	Tweak X	Tweak Y	番号	バンク	Tweak X	Tweak Y	番号	バンク	Tweak X	Tweak Y
1	Showcase	μMod レベル	リバーブ・レベル	34	Thickens	μMod フィードバック	μMod デブス	67	Rock / Metal	μMod レベル	トランスデューサー・ローカット
2	Showcase	リバーブ・レベル	ディレイ・レベル	35	Thickens	μMod レベル	μMod フィードバック	68	Rock / Metal	μMod レベル	ディストーション量
3	Showcase	リバーブ・ディケイ	リバーブ・レベル	36	Thickens	μMod スピード	μMod デブス L / R	69	Rock / Metal	トランスデューサー・スタイル	μMod スタイル
4	Showcase	リバーブ・プリディレイ	リバーブ・ディケイ	37	Thickens	μMod レベル	リバーブ・レベル	70	Rock / Metal	リバーブ・ルーム・スタイル	プリディレイ
5	Showcase	トランスデューサー・バンドワイズ	リバーブ・ディケイ	38	Thickens	μMod レベル	μMod フィードバック	71	Country	リバーブ・ハイカラー	リバーブ・ディケイ
6	Showcase	μMod レベル	リバーブ・レベル	39	Thickens	μMod スペシャル	μMod フィードバック	72	Country	トランスデューサー・バンドワイズ	リバーブ・レベル
7	Showcase	リバーブ・ルーム・スタイル	リバーブ・プリディレイ	40	Thickens	μMod スピード	μMod フィードバック	73	Country	リバーブ・ローカラー	リバーブ・ディケイ・タイム
8	Showcase	μMod レベル	リバーブ・レベル	41	Transducer	トランスデューサー・ポストゲイン	トランスデューサー・バンドワイズ	74	Country	リバーブ・ルーム・レベル	リバーブ・プリディレイ
9	Showcase	μMod ディチューン	リバーブ・レベル	42	Transducer	ディレイ・ショート・タイム	トランスデューサー・バンドワイズ	75	Country	ディレイ・レベル	フィードバック
10	Showcase	μMod レベル	リバーブ・レベル	43	Transducer	ディストーション量	トランスデューサー・バンドワイズ	76	Country	リバーブ・プリディレイ	リバーブ・レベル
11	Reverbs	リバーブ・スタイル	リバーブ・レベル	44	Transducer	トランスデューサー・ローカット	リバーブ・レベル	77	Country	ディレイ・レベル	リバーブ・レベル
12	Reverbs	リバーブ・プリディレイ	リバーブ・ディケイ	45	Transducer	トランスデューサー・プリゲイン	トランスデューサー・ポストゲイン	78	Country	μMod レベル	リバーブ・レベル
13	Reverbs	リバーブ・ルーム・レベル	リバーブ・テール・レベル	46	Transducer	トランスデューサー・プリゲイン	トランスデューサー・ポストゲイン	79	Country	ディレイ・ショート・タイム	ディレイ・レベル
14	Reverbs	リバーブ・ローカラー	リバーブ・ハイカラー	47	Transducer	トランスデューサー・プリゲイン	トランスデューサー・ポストゲイン	80	Country	トランスデューサー・ローカット	ディストーション量
15	Reverbs	リバーブ・ルーム・レベル	リバーブ・テール・レベル	48	Transducer	ディストーション・タイプ	トランスデューサー・プリゲイン	81	Jazz / Ballad	リバーブ・ハイカラー	リバーブ・ディケイ
16	Reverbs	リバーブ・ルーム・レベル	リバーブ・テール・レベル	49	Transducer	ディストーション量	トランスデューサー・ローカット	82	Jazz / Ballad	リバーブ・ハイカラー	リバーブ・ディケイ
17	Reverbs	リバーブ・プリディレイ	リバーブ・ディケイ	50	Transducer	ディストーション量	トランスデューサー・バンドワイズ	83	Jazz / Ballad	リバーブ・ショート・タイム	リバーブ・レベル
18	Reverbs	リバーブ・プリディレイ	リバーブ・ディケイ	51	Pop / R&B	リバーブ・レベル	ディレイ・ディビジョン	84	Jazz / Ballad	ディレイ・タイム	ディレイ・フィードバック
19	Reverbs	リバーブ・ルーム・レベル	リバーブ・テール・レベル	52	Pop / R&B	μMod レベル	リバーブ・レベル	85	Jazz / Ballad	リバーブ・ハイカラー	リバーブ・ディケイ
20	Reverbs	リバーブ・ルーム・スタイル	ディレイ・フィードバック	53	Pop / R&B	ディレイ・レベル	μMod スタイル	86	Jazz / Ballad	ディレイ・ローカット	ディレイ・ショート・タイム
21	Delays	ディレイ・フィードバック	ディレイ・ハイカット	54	Pop / R&B	リバーブ・ルーム	リバーブ・プリディレイ	87	Jazz / Ballad	ディレイ・ディビジョン	ディレイ・フィードバック
22	Delays	ディレイ・フィードバック	ディレイ・ハイカット	55	Pop / R&B	ディレイ・レベル	リバーブ・レベル	88	Jazz / Ballad	μMod レベル	リバーブ・レベル
23	Delays	ディレイ・フィードバック	ディレイ・セント・パン	56	Pop / R&B	リバーブ・ハイカラー	リバーブ・ディケイ	89	Jazz / Ballad	リバーブ・ハイカラー	リバーブ・ディケイ
24	Delays	ディレイ・フィードバック	ディレイ・ディビジョン	57	Pop / R&B	μMod レベル	リバーブ・レベル	90	Jazz / Ballad	トランスデューサー・バンドワイズ	リバーブ・ディケイ
25	Delays	ディレイ・ディビジョン	ディレイ・フィードバック	58	Pop / R&B	μMod レベル	リバーブ・レベル	91	Special FX	ディレイ・タイム・ショート	ディレイ・フィードバック
26	Delays	ディレイ・ショート・タイム	ディレイ・レベル	59	Pop / R&B	リバーブ・レベル	トランスデューサー・バンドワイズ	92	Special FX	ディストーション量	ショート・ディレイ・タイム
27	Delays	ディレイ・ショート・タイム	ディレイ・レベル	60	Pop / R&B	μMod レベル	リバーブ・レベル	93	Special FX	ディレイ・フィードバック	μMod スピード
28	Delays	ディレイ・フィードバック	μMod スタイル	61	Rock / Metal	リバーブ・レベル	ディストーション量	94	Special FX	リバーブ・スタイル	リバーブ・ディケイ
29	Delays	ディレイ・フィードバック	トランスデューサー・スタイル	62	Rock / Metal	ディレイ・ディビジョン	ディストーション量	95	Special FX	トランスデューサー・スタイル	μMod スタイル
30	Delays	ディレイ・フィードバック	ディレイ・ディビジョン	63	Rock / Metal	μMod レベル	リバーブ・レベル	96	Special FX	μMod レベル	ディレイ・レベル
31	Thickens	μMod レベル	リバーブ・レベル	64	Rock / Metal	μMod レベル	リバーブ・ショート・ディレイ	97	Special FX	トランスデューサー・バンドワイズ	ディレイ・フィードバック
32	Thickens	μMod レベル	リバーブ・レベル	65	Rock / Metal	μMod レベル	リバーブ・ルーム・スタイル	98	Special FX	トランスデューサー・ローカット	ディストーション量
33	Thickens	μMod レベル	リバーブ・レベル	66	Rock / Metal	μMod スタイル	μMod レベル	99	Special FX	トランスデューサー・スタイル	リバーブ・レベル

このページを切り取ってラミネートしたものを、ライン時の参考としてご利用ください。